

武漢コロナウイルスのすべて 1

2680 地区 PDG 田中 毅

武漢コロナウイルスとは

人に感染する「コロナウイルス」は、7種類あります。このうち、4種類のウイルスは、一般の風邪の原因の10~15%（流行期は35%）を占め、多くは軽症です。その中の一つが、武漢コロナウイルス COVID-19) (SARS-CoV-2) です。

残りの2種類は、2002年に発生した「重症急性呼吸器症候群 (SARS)」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群 (MERS)」です。

重症化するセリン型(S)と軽症のロイシン型(L)が代表的ですが、現時点では数多くの型に変異している模様です。

重症化する原因は武漢コロナウイルスの抗原によって、マクロファージやリンパ球などが放出する物質(サイトカイン)が過剰となり、それが正常な細胞を破壊する、いわゆる、オーバー・サイトカインになるといわれています。

アルコール消毒(70%以上)、次亜塩素酸などで感染力を失うことが知られています。

発生

フェイク・ニュースを含めて様々な説がありますが、これを集約すると次のようになります。

2019年11月初旬に、武漢海鮮市場近くにある中国科学院ウイルス研究所若しくは、武漢疾病予防管理センターから流失したという説が最も信憑性が高そうです。

南方医科大学公共衛生学院の研究論文では、武漢コロナウイルス(SARS-CoV-2)が発生した期間は2019年9月23日から2019年12月15日の間であり、「センザンコウ」の遺伝子に、人工的な遺伝子を組み合わせたものだと発表しています。なお武漢コロナウイルスの遺伝子はDNAではなく、RNAなので変異しやすいといわれています。

アメリカの国防省も、11月に、武漢周辺での伝染病に関して「複数の分析により、大惨事を引き起こしかねない状況との結論が出た」と報告しています。

中国政府が武漢コロナウイルスの発生数を発表したのは1月21日ですから、3ヶ月も武漢コロナウイルスの発生を隠ぺいしたことが、この病気を世界中に蔓延させた元凶だと思います。

この3ヶ月の間、すなわちクリスマス休暇から春節にかけて、世界各国から帰省する中国人が、中国政府の指示によって、大量のマスクを買い占めて帰国したため、世界中の国からマスクが消えてしまいました。日本における中国製のマスクは70%、アメリカでは90%ですから、世界中のほとんど全部のマスクが中国に戻ったことになります。

中国系の商社を通じて、大量の人口呼吸器等の医療機器が、中国に輸入された模様です。私の知人・関空職員の話では、マスクを山積みしたカートを押す中国人の集団が連日見られたそうです。マスクも、マスクの重要な機能を持つ不稔布も、人工呼吸器も、ベッドも、ほとんどの医療機器は中国産です。これらを事前に買い占めたことは、すなわち、医療機器不足の混乱が起ることを、中国政府は予測していたということになります。

中国政府は、3月中旬をピークにして患者数が減少して、遂に発生者がゼロになり、4月8日に武漢

市の封鎖が解かれたと発表しましたが、患者数減少が統計学上絶対にあり得ないのカーブを描いている、すなわち、通常は増減を繰り返してジグザクを描きながら、徐々に減少するのが、中国の場合は、1回の増加もなく直線的に減少したことから、その信憑性が疑問視されています。

感染経路

新型コロナウイルス感染症がどのように感染するのかについては、現時点では、飛沫感染と接触感染の2つが考えられます。

飛沫感染

感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出され、別の人があるウイルスを口や鼻から吸い込み感染します。主な感染場所：学校や劇場、満員電車などの人が多く集まる場所です。

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れてウイルスが付き、別の人がある物に触ってウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触って粘膜から感染します。主な感染場所：電車やバスのつり革、ドアノブ、スイッチなどです。

患者からの飛沫や空気中のウイルスは、口中の粘膜に2～3日留まって、これが呼吸によって肺に送られて感染します。これを防ぐために、外出から帰宅したら、うがいをして、吐き出すことが有効です。

なおこのウイルスは熱に弱いので、熱いお茶を飲んで、胃の中に流し込んで中和することが有効だといわれています。(薬剤師・米田 PDG よりの情報)

最近の研究では、このウイルスが糞尿や精液からも検出されたという記載があるために、呼吸器だけの感染ではなくて、食事や性交によっても感染すると考えられます。

◎密閉した空間

◎密接した対人距離

◎密度の多い場所 を避けることが必要です。

薬物の影響

イブプロフェン系の鎮痛解熱剤(バファリン・ロキソニン・アドビル)は武漢コロナウイルスを増殖させる作用を持っているので服用しないこと。アセトアミノ系(セデス、タイレノール、カロナール、トラムセット)は大丈夫です。(薬剤師・米田 PDG よりの情報提供)